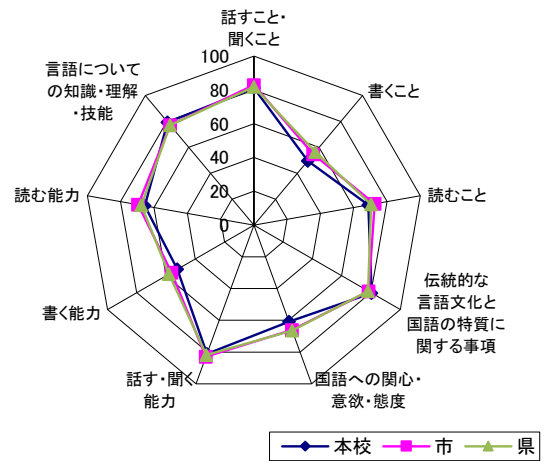


宇都宮市立瑞穂野北小学校 第5学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	81.1	82.9	81.8
	書くこと	49.6	54.8	56.5
	読むこと	68.8	72.6	70.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	80.5	78.4	78.1
観点	国語への関心・意欲・態度	60.8	66.0	66.4
	話す・聞く能力	81.1	82.9	81.8
	書く能力	52.3	56.3	57.9
	読む能力	65.5	69.5	67.6
	言語についての知識・理解・技能	79.5	77.2	77.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>平均正答率は、市の平均よりやや低い。</p> <p>○司会の役割として、参加者の発言の共通点をまとめる問題の正答率が高い。</p> <p>●話の中心に気をつけて聞き取る問題の正答率が低い。</p>	<p>・話し合いでは、自分の考えと友達の考えの共通点や相違点を考えながら聞くよう指導する。</p>
書くこと	<p>平均正答率は、市の平均より低い。</p> <p>○情報を適切に読み取り、ポスターの文を書く問題の正答率は市と同程度である。</p> <p>●意見をもとにポスターの文を書く問題の正答率が低い。</p> <p>●字数制限、答え方の制限がある解答を作れずに無解答になってしまう児童が多い。</p>	<p>・授業の中で書く活動を行う際に、字数や書き方など、条件に合わせて書く練習をする。</p> <p>・めあてや振り返りを自分の言葉で書くよう指導する。</p>
読むこと	<p>平均正答率は、市の平均より低い。</p> <p>○物語の内容を読み取る問題の正答率が高い。</p> <p>●物語全体の流れを捉えたり、文中の表現にこだわって気持ちや様子を想像したりすることに課題が見られる。</p> <p>●説明的文章では、文章全体の組み立てを捉えたり、文の役割や意味を考えながら読んだりすることに課題が見られる。</p>	<p>・短い文章を使った読み取りを行うことで、文章を読むことへの抵抗感を減らすと共に、文章を読み取ったり問題に答えたりする経験を増やしていく。</p> <p>・朝の学習の時間を活用して、基本的な文法(主語・述語・修飾語・接続語)を学習する機会を継続していく。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>平均正答率は、市の平均より高い。</p> <p>○4学年配当漢字の読み書きは全体的によくできており、定着が図れていると思われる。</p> <p>●文の構成(連用修飾語)について理解できている児童は少数である。</p>	<p>・文を書く際に、指示語や修飾語を正しく使えるように指導する。</p> <p>・漢字の書きを中心にスキル、プリント、自主学習などで繰り返し定着を図っていくようにする。</p>